

基調講演会場



K-1

Keynote

Delivering Next-Gen Cybersecurity, Today

現在人々の働き方や生活様式が変わりつつあり、また企業もデジタル変革が強く求められている中、サイバーセキュリティの観点からビジネスを動かすことは益々重要になっています。テレワークやリモートアクセス、ITプラットフォームのクラウド移行など、アプリケーションやデータへのアクセス方法も多様化し、それに伴う脅威やリスクも生まれています。当セッションでは、拡大するセキュリティポートフォリオにより、どのような戦略でお客様を支援していくのか、ご説明いたします。

パロアルトネットワークス株式会社

代表取締役会長兼社長

アライ・ヒロシ

【講師プロフィール】

アライ・ヒロシは、米Palo Alto Networksの日本法人、パロアルトネットワークス株式会社の代表取締役会長兼社長です。アライはパロアルトネットワークスの日本市場における戦略の構築、ビジネス成長へ向けた活動を統括しています。アライは米国にて大学を卒業後、本田技研工業の米国法人で営業・マーケティング、技術、品質管理を担当し、海運会社P&Oネドロイド（現、A.P. モラー・マースク）に移籍後、日本に赴任し事業戦略部門の責任者としてアジア太平洋地域を統括、その後、日本BEA（現・オラクル）に営業職として移籍し、様々な要職を歴任したのち2005年に同社代表取締役社長に就任。2007年、ウィプロ・ジャパン代表取締役社長に就任し、同社の企業向けITサービスの成長に寄与しました。2011年よりF5ネットワークスに代表取締役社長に就任し、同社の企業、政府、サービスプロバイダ向けビジネスの成長に貢献し、2014年8月1日、パロアルトネットワークス合同会社代表執行役員社長に就任しました。（その後、「パロアルトネットワークス合同会社」は「パロアルトネットワークス株式会社」に組織改編し、役職は「代表取締役会長兼社長」に変更）



SP-4

Keynote / Special

経営戦略としてのワーク・ライフバランス ～生産性で差をつけ、VUCA時代を勝ち抜くには～

1000社の働き方改革を支援してきました。かつての長時間労働と均質性の高い組織で強い成功体験のある企業が、今次々と新しい働き方に飛び移り、生産性を飛躍させています。経営陣が変革の必要性に腹落ちし、自らコミットするにはどのようなアプローチが有効なのか。VUCA時代の管理職は具体的に自身のマネジメント方法をどう変えるべきなのか。社員がリモートでも、生産性を落とさずに安心して仕事ができる仕組みとは？多様な業界で、働き方を変え、業績を上げた企業事例を数多くご紹介します。

株式会社ワーク・ライフバランス

代表取締役社長

小室 淑恵 氏

【講師プロフィール】

株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役社長1000社以上の企業へのコンサルティング実績を持ち、残業を減らして業績を上げるコンサルティング手法に定評があり、残業削減した企業では業績と出生率が向上している。「産業競争力会議」民間議員など複数の公務を歴任。2児の母。

基調講演会場



K-2

Keynote

サイバーセキュリティのあるべき姿とその進化と未来とは？

弊社はこれまでマーケットやお客様のニーズに合わせて、エンタープライズセキュリティ、クラウドセキュリティ、セキュリティの運用の分野において、サイバーセキュリティスタックと言える製品ポートフォリオを進化させてきました。当セッションでは、今後サイバーセキュリティはどのように進化すべきなのか、また弊社がどのようにサイバーセキュリティの未来を見据えているか、創設者およびCTOであるNir Zukがお話します。

Palo Alto Networks Inc.

創業者、最高技術責任者

Nir Zuk

【講師プロフィール】

Nir Zukはネットワークセキュリティにおける豊富な専門知識と業界での経験を元にパロアルトネットワークスを立ち上げました。パロアルトネットワークスを共同創業する以前は2004年にJuniper Networks社によって買収されることになるNetScreen Technologies社のCTOでした。NetScreen社の前は、不正侵入防御(IPS)のアプライアンスを他に先駆けて開発したOneSecure社の共同創業者で、CTOでした。それ以前は、Check Point Software Technologies社の主要なエンジニアであり、ステートフル インспекションの技術を開発したエンジニアの一人でした。



K-3

Keynote

インテリジェント ネットワーク セキュリティの時代へようこそ

企業を守っていく上で、最適な場所に最適な防御を施すことは非常に重要となっています。デジタルトランスフォーメーションが求められている中、イノベーションを活用し、先を見越してビジネスを保護していくことは、今後企業が取りかからなくてはならない命題です。世界初の機械学習を搭載した次世代ファイアウォールおよびSTRATA製品ファミリーが、どのようにお客様が競争に打ち勝つための力を授けるかご説明します。

Palo Alto Networks Inc.

SVP, Core Growth

Andy Elder

【講師プロフィール】

Andy Elderは、2019年11月にStrata Growthのシニアバイスプレジデントとしてパロアルトネットワークスに入社しました。Andyは、弊社の業界をリードするネットワークセキュリティ製品群のグローバルの市場開拓戦略およびその実行を担当しており、その最も大きな製品ポートフォリオの中で、製品マーケティング、営業、そしてカスタマーサービスも統括しています。パロアルトネットワークスに入社する前、Andyは、Riverbedで最高販売責任者として、大幅な売上成長とグローバルにおける市場シェアの拡大のため事業を牽引していました。Riverbedには、ヨーロッパ・中東・アフリカ地域の営業部門のシニアバイスプレジデントとして入社し、大きな販売実績と組織変革を成し遂げた後、グローバルのリーダーシップへと昇格しました。Andyのインテル、シスコ、ティーボといった業界をリードするB2BおよびB2Cの世界的テクノロジー企業において、営業やマーケティングといった部門の幹部として重要な役割を担ってきました。30年間のキャリアにおいて、Andyは、世界で約200ヶ国に対する市場開拓業務を牽引してきました。Andyはもともとイギリス出身で、中東、オランダ、シアトル、米国のバイエリアに滞在した経験を持ちます。

基調講演会場



K-4

Keynote

包括的なクラウド ネイティブ セキュリティの実現に向けて

ビジネスや開発環境でクラウドを活用する企業が多くなる中、クラウド ネイティブ セキュリティは各企業が検討すべき重要課題です。進化を続けるPrisma Cloudは、どのクラウド環境においても、開発のライフサイクルの中で一貫したセキュリティを提供し、自信を持ってお客様にクラウド ネイティブなアプリケーションの開発環境を保護します。

Palo Alto Networks Inc.
SVP, Prisma GTM

Rahul Sood

【講師プロフィール】

Rahul Soodは、パロアルトネットワークスの新しいSaaSビジネスのひとつであるPrisma Cloudのビジネスを率いています。Prisma Cloudは、お客様がクラウド上で稼働しているワークロードをセキュアにすることが主なミッションであり、業界初かつもっとも包括的なクラウドネイティブセキュリティを提供するプラットフォームです。Rahulは、お客様に対してクラウドセキュリティの成果を提供し、またビジネスに対してビジネスの結果を出すことを職責としています。

Rahulは、例えば、Facebook、Google、SAP、マッキンゼーといったクラウドサービス/プラットフォームの企業でリーダーシップの役割を約20年以上経験し、数十億ドル規模のビジネスの立ち上げにも携わってきました。また、Rahulは、プロダクトマネジメント、エコシステムディベロップメント、ビジネスビルディングといった様々なスキルセットを持っており、クラウド業界における彼の経歴は、ビジネスアプリケーションやIT/開発用プラットフォームなど多岐に渡ります。Rahulは、インド工科大学デリー校でコンピューターサイエンスの理学士号を取得し、インディアン・インスティテュート・オブ・マネージメント・カルカッタでMBAを取得しました。Rahul、そして彼の妻であるMansilは、ふたりの高校生の娘たちと、よくZoom会議に出席する4歳の子犬のPippinとともに、ロスアルトスに住んでいます。



K-5

Keynote

Cortexによるセキュリティ運用を変革 ～自律的なSOC運用へ～

Cortexは、アラートの数を減らし、エンドツーエンドで自動化を促し、そして効率的なセキュリティ運用を実現していきます。当セッションでは、セキュリティ運用の領域において、業界で最も包括的な製品スイートであるCortexが、どのようにお客様に対して、最高クラスの検出、調査、自動化、対応能力を提供するのか、また自律的なSOCの実現に向けた戦略についてご紹介します。

Palo Alto Networks Inc.
SVP, Go To Market

Shailesh Rao

【講師プロフィール】

Shailesh Raoは、セキュリティ オペレーション センター (SOC) を変革するソリューションのグローバルビジネスを担当するシニアバイスプレジデントです。

この領域において、Shaileshは、Cortex®、Cortex XDR、Cortex DataLake、AutoFocusといった製品ラインのグローバル市場開拓戦略を統括しています。

Shaileshは、パロアルトネットワークスに入社する前は、検査基盤を提供するBrowserStackで最高業務執行責任者を務め、グローバルビジネスと市場開拓業務を統括していました。BrowserStack以前では、Shaileshは、Googleにおいて、Googleのコンシューマー向け製品ポートフォリオの製品オペレーションを統括し、2011年以降はグローバルのGoogle Cloud Platformビジネスを率いました。

Googleの前は、SAPにおいてクラウドソリューションのシニアバイスプレジデントを担当していました。

Shaileshは、機械工学において学士号およびコンピューターサイエンスと経営学において修士号を取得しています。

基調講演会場



K-6

Keynote

エンタープライズIoTをセキュアに ～その課題と解決方法について～

現在あらゆる企業がIoTデバイスを活用しています。しかしながら、そのうちの16%の企業のみがそのIoT環境を保護できていると感じています。エンタープライズIoTを守ることはなぜ難しいのでしょうか？なぜIoTセキュリティは特有なののでしょうか？当セッションでは、まずIoTセキュリティにおける課題についてお話します。そして、より重要なこととして、それらの課題に対してどのように取り組み、エンタープライズIoTをセキュアにするソリューションを導入していけば良いのか、ご紹介します。

Palo Alto Networks Inc.

VP, Products, IoT Security

Xu Zou

【講師プロフィール】

Xuは、Palo Alto NetworksのIoTセキュリティ製品担当バイスプレジデントです。Xuは、2014年に共同設立したIoTセキュリティ企業Zingboxの買収を経て、Palo Alto Networksに入社しました。2014年にZingboxを立ち上げる前は、Aerohive Networksのシニアディレクターとして、AerohiveのクラウドベースのBYOD (Bring-Your-Own-Device) セキュリティ製品の立ち上げに携わりました。Aerohiveの前は、Aruba Networksのシニア・ディレクターとして、Arubaの産業用およびキャリア向け製品ラインを管理していました。Xuは、Azalea Networksの買収によりArubaに入社し、創設メンバーでありソフトウェア担当バイスプレジデントを務めていました。Azalea Networksの前は、2005年にCiscoに買収されたAirespaceでシニア・エンジニアを務めていました。Xuはペンシルバニア大学ウォートンスクールでエグゼクティブMBAを取得し、ミシガン州立大学でコンピュータサイエンスの修士号、清華大学でコンピュータサイエンスの学士号を取得しています。また、セキュリティとネットワークに関する国際特許を10件保有しています。



SP-1

Keynote / Special

COVID-19時代を乗り切るマインドセット

新型コロナウイルスにより、我々の働き方は大きく変化せざるを得なくなりました。「COVID-19が存在する時代」を生き抜いていくために必要な、「スキル」と「マインドセット」についてお話しさせていただきます。

株式会社圓窓

代表取締役

澤 円 氏

【講師プロフィール】

(株) 圓窓 代表取締役。元日本マイクロソフト業務執行役員。立教大学経済学部卒。生命保険のIT子会社勤務を経て、1997年、日本マイクロソフトへ。ITコンサルタントやプリセールスエンジニアとしてキャリアを積んだのち、2006年にマネジメントに職掌転換。幅広いテクノロジー領域の啓蒙活動を行うのと並行して、サイバー犯罪対応チームの日本サテライト責任者を兼任。2020年8月末に退社。2019年10月10日より、(株) 圓窓 代表取締役就任。現在は、数多くの企業の顧問やアドバイザを兼任し、テクノロジー啓蒙や人材育成に注力している。美容業界やファッション業界の第一人者たちとのコラボも、業界を超えて積極的に行っている。テレビ・ラジオ等の出演多数。Voicyパーソナリティ。琉球大学客員教授。

Ignite'20 セッション会場



IG-1

Ignite'20

Ignite'20 Keynote Session:よりセキュアな明日のためのセキュリティ ロードマップ

当セッションは、Ignite'20における最高製品責任者のLee Klarichによる基調講演セッションです。STRATAによるネットワークトランスフォーメーション、PRISMAによるクラウドネイティブセキュリティ、CORTEXによるAIや自動化によるセキュリティ運用など、パロアルトネットワークスのポートフォリオにおけるロードマップをデモを交えてご紹介しています。

Palo Alto Networks Inc.
最高製品責任者

Lee Klarich

【講師プロフィール】

2006年の早い段階での製品検討から、Lee Klarichは、パロアルトネットワークスで製品管理責任者を勤め、製品戦略およびロードマップの監督に携わってきました。パロアルトネットワークス入社前は、Juniper Networksの製品管理責任者として、ファイアウォール/VPNプラットフォームおよびソフトウェアを担当していました。NetScreen Technologies買収によってJuniper Networksに入社となり、同じ製品ラインを担当していました。それ以前は、Excite@HomeおよびPackard Bell-NECでさまざまな役職を経てきました。彼は、コーネル大学でエンジニアリングの学位を取得しています。

IG-2

Ignite'20

Ignite'20 Keynote Session:いつまでも続いていくトランスフォーメーション

当セッションは、Ignite'20における創業者、最高技術責任者であるNir Zuk基調講演セッションです。当セッションでは、絶え間なくトランスフォーメーションを続けているパロアルトネットワークスのビジョンや、パロアルトネットワークスがどのように市場や未来を見ているか、拡大し続けるプロダクトポートフォリオを絡めてご説明しています。パロアルトネットワークスのこれまで、いま、そしてこれからについて知りたい方は是非ご視聴ください。

IG-3

Ignite'20

Ignite'20 Keynote Session:エンドツーエンドのゼロトラスト セキュリティ

ゼロトラストは、サイバーセキュリティインフラを構築していく上で最も良いアプローチのひとつです。様々な課題に対して、それぞれ異なるソリューションを用いるという従来からあるサイバーセキュリティ手法では、エンドツーエンドでゼロトラストを実現していくのは難しくなります。当セッションでは、ゼロトラストの基本概念、エンドツーエンドでゼロトラスト フレームワークを構築していく方法、そしてそのフレームワークにパロアルトネットワークスのソリューションがなぜ最適なのか、をご紹介します。

IG-4

Ignite'20

Ignite'20 Keynote Session:ウィズ/アフターコロナ時代においてリモートアクセス セキュリティに大失敗しないためには？

COVID-19によるパンデミックの状況がもう少し長引き、そのような中で私たちの働き方が根本的に変わってしまったことは明白です。リモートワークはニューノーマルになりましたが、お客様が導入しているリモートアクセスは、セキュリティとスケーラビリティの観点で失敗しているケースが多く見られます。当セッションでは、創業者兼最高技術責任者であるNir Zukが、正しくかつセキュアなリモートアクセスソリューションを長期的に構築する方法についてお話いたします。



Palo Alto Networks Inc.
創業者、最高技術責任者

Nir Zuk

ポートフォリオセッション（全会場共通）

■パロアルトネットワークスセッション

X-1

パロアルトネットワークス
Productの全貌

パロアルトネットワークス株式会社
本間 庸之

STRATA™ エンタープライズセキュリティ セッション会場

■協賛社セッション

S-1

Prisma Accessで変革する
デジタルワークプレイス

株式会社IDJグローバルソリューションズ

S-2

必見！Prisma Access事例から
見るSASEの価値

株式会社IDJグローバルソリューションズ

S-4

withコロナ時代の
OTセキュリティ

アクセンチュア株式会社

S-9

リモートワークでIT環境と必要
なセキュリティはこう変わる！

株式会社インフォセック

S-13

ハイブリッドクラウドの
ゼロトラストネットワークを
完全自動化

ニュータニックス・ジャパン合同会社

■パロアルトネットワークスセッション

ST-1

「PAN-OS 10.0」全ての環境に
更に進化したネットワーク
セキュリティを！

パロアルトネットワークス株式会社
石川 幸平

ST-3

IoTセキュリティ対策を
シンプルに！

パロアルトネットワークス株式会社
丸茂 章太郎

ST-4

Zero Trust Security+
インフラの再構築

パロアルトネットワークス株式会社
横谷 康久

ST-5

コンテナで動作する
業界初のNGFW “CN-Series”

パロアルトネットワークス株式会社
松崎 裕樹

ST-6

Data Center Transformation
～ハイブリッドクラウドを支える
ネットワークセキュリティ～

パロアルトネットワークス株式会社
今岡 誠

PRISMA クラウドセキュリティ セッション会場

■協賛社セッション

S-3

企業が目指すべきITプラットフォームの実現に向けた要諦

アクセンチュア株式会社

S-6

ネットワークセキュリティ屋のための「クラウドネイティブ入門」

テクマトリックス株式会社

S-7

AWSネットワークセキュリティ強化実現方法

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社

S-11

全網羅！実践的なクラウドセキュリティ対策
～経験が実証する対策事例のご紹介～

JBCC株式会社 / JBサービス株式会社

S-14

Prisma Access x Cisco Duo で、かんたん多要素認証のご紹介 & IoT連携ソリューションで実現する次世代SOARのご紹介

ネットワンパートナーズ株式会社

■パロアルトネットワークスセッション

PR-1

ハイブリッド/マルチクラウド環境向けSOCを強力に支援する Prisma Cloud

Palo Alto Networks Inc. Vishal Lanjekar
Palo Alto Networks Inc. Sujit Nair

PR-2

お客様事例徹底解説！現代企業のためのクラウドセキュリティ

Palo Alto Networks Inc. Bisham Kishnani

PR-3

クラウドセキュリティと DevSecOps

パロアルトネットワークス株式会社 安齋 賢二

PR-5

デジタルトランスフォーメーションを加速するネットワークセキュリティとは – Prisma Access –

パロアルトネットワークス株式会社 石橋 寛憲

PR-6

CloudGenixのテクノロジーを搭載した次世代SD-WAN

パロアルトネットワークス株式会社 藤生 昌也

PR-8

Chatwork x Macnica Solutions: Prisma Cloudで始める Container Security

Chatwork株式会社 尾崎 耕多氏
マクニカソリューションズ株式会社 坂本 諒氏 前野 秀彰氏

■スペシャルセッション

SP-2

クラウドセキュリティ対談

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 河原 哲也氏
パロアルトネットワークス株式会社 石川 幸平

SP-3

クラウドネットワークで実現するエンタープライズセキュリティ

グーグル・クラウド・ジャパン合同会社 有賀 征爾氏

CORTEX セキュリティ運用 セッション会場

■協賛社セッション

S-5

**SOCアナリストが提唱する
SOARによる最適な運用課題の
解決**

テクマトリックス株式会社

S-8

**徹底活用！
次世代ファイアウォールの
ログ分析管理術！**

インフォサイエンス株式会社

S-10

**ニューノーマルな働き方に最適！
セキュリティ監視MSS-NDR**

株式会社インフォメーション・ディベロプメント

S-12

**防御網をすり抜ける脅威に
対応するセキュリティ運用とは**

トラストウェーブジャパン株式会社

■パロアルトネットワークスセッション

CO-1

**Secure the Future – Cortex
セキュリティオペレーション
の改革**

パロアルトネットワークス株式会社
露木 正樹

CO-2

**～アラートを1/50に削減し
セキュリティ運用を改革～
Cortex XDR**

パロアルトネットワークス株式会社
室井 俊彦

CO-3

**既存のセキュリティ対策資産を
最大限活用 Cortex XSOAR が
もたらすセキュリティ運用の改革**

パロアルトネットワークス株式会社
井上 正彦

CO-4

**脅威インテリジェンスプラット
フォームAutoFocusとは**

パロアルトネットワークス株式会社
澁谷 寿夫

CO-5

**セキュリティ人材不足をこれで
解決！Cortex XDR Managed
Threat Hunting Service とは？**

パロアルトネットワークス株式会社
池永 章

業種別 セッション会場

■パロアルトネットワークスセッション

<公共>

I-1

**急増する DNS を悪用する攻撃
への対処 - DNS セキュリティ
サービスのご紹介**

パロアルトネットワークス株式会社
梶崎 晃太

I-2

**GlobalProtectによる
リモートアクセス環境の整備**

パロアルトネットワークス株式会社
岸本 卓也

<サービスプロバイダ>

I-3

**5Gインフラの
セキュリティリスクとその対策**

パロアルトネットワークス株式会社
松本 智大

I-4

**生活環境の変化に伴う、NOCの
ニューノーマル**

パロアルトネットワークス株式会社
久保田 浩康

<製造>

I-5

**重要インフラとDX
～サイバーセキュリティ対策の
最前線～**

パロアルトネットワークス株式会社
安岡 祥吾

I-6

**今求められるセキュリティ
プラットフォームと将来像**

パロアルトネットワークス株式会社
寺内 大補

<金融>

I-7

**コロナ時代の環境変化に伴う
企業ビジネスの順応と対策**

パロアルトネットワークス株式会社
池田 良輔
浅野 貴志

I-8

**クラウド向けセキュリティ対策
と全体最適化**

パロアルトネットワークス株式会社
浅野 貴志

ビジネス セッション会場

B-1

「アラート疲れ」や高度なサイバーリスクに対するセキュリティオペレーションの解決策

株式会社リクルート
六宮 智悟 氏

パロアルトネットワークス株式会社
染谷 征良

パロアルトネットワークス株式会社
室井 俊彦

B-2

デジタルビジネスを支えるサイバーセキュリティ重点施策5項目

パロアルトネットワークス株式会社
染谷 征良

B-3

いま検討するリモート制御やIoTのセキュリティ課題と対策

グローバルセキュリティエキスパート

一般社団法人コンピュータセキュリティ協会

萩原 健太 氏

パロアルトネットワークス株式会社

染谷 征良

アクセンチュア株式会社

藤井 大翼 氏

B-4

BUSINESS EXECUTIVE SESSION ニューノーマル時代を勝ち抜くデジタル変革の最前線 ～変化に強い企業を創る、ビジネスアジリティとマネジメントの実行力～

南山大学
青山 幹雄 氏

横河電機株式会社
船生 幸宏 氏

パロアルトネットワークス株式会社
林 薫

B-5

なぜセキュリティ予算は通らないのか ～失敗しない予算獲得術～

SOMPOリスクマネジメント株式会社
熱海 徹 氏

B-6

防衛力と経済性を考慮したセキュリティ戦略の立案

パロアルトネットワークス株式会社
林 薫

B-7

ゼロトラストの神話と現実

パロアルトネットワークス株式会社
林 薫

B-8

パンデミック下におけるサイバー攻撃

Palo Alto Networks, Inc.
Vicky Ray

協賛社セッション

S-1

エンタープライズセキュリティ セッション会場

Prisma Accessで変革するデジタルワークプレイス

デジタル戦略を推進する上で「デジタルワークプレイスの整備」はグローバル企業の競争戦略を支える要と言えます。本セッションではPrisma AccessとIIJグループのサービス群を連携させることで、「生産性の向上」と「デジタルガバナンス」の実現にどのように貢献できるのか解説します。



株式会社IIJグローバルソリューションズ
営業本部ビジネス開発部 シニアコンサルタント

高柳 勇佑 氏

【講師プロフィール】
次世代ネットワークと情報セキュリティを中心に年間100社を超えるお客様へのプリセールス活動を担当。
昨今ではSASEを中心としたソリューションに注力し、セミナーへの登壇やメディアでの啓蒙など幅広く活動中。情報処理安全確保支援士。

S-2

エンタープライズセキュリティ セッション会場

必見！Prisma Access事例から見るSASEの価値

New Normalの時代になりマルチクラウド利用とリモートワークが急拡大したことで、アプリ・データ・ユーザの多くが社外に出ていきました。データセンターを中心としたITインフラは非効率とされ始めています。本講演では先進事例を紐解きながらゼロトラスト、キャパシティ問題、グローバル対応、積み上げ型投資からの脱却、運用業務の効率化など、企業の目指すべき姿とSASEが実現する価値について解説します。



株式会社IIJグローバルソリューションズ
営業本部ビジネス開発部 シニアコンサルタント

原 毅 氏

【講師プロフィール】
大手企業のネットワークの設計からサービス導入/運用支援までシビアな品質が要求されるプロジェクトを多数経験。現在はプリセールスの立場からネットワーク・セキュリティ・サーバと幅広い範囲での知見を活かし、お客様のデジタル変革を支えるプラットフォーム整備に向けた提案を数多く担当。

S-3

クラウドセキュリティ セッション会場

企業が目指すべきITプラットフォームの実現に向けた要諦

次世代ITプラットフォームの実現に不可欠な要素であるクラウドサービスは既に多くの企業で活用が進んでいますが、ガバナンスの欠如やポリシーの不備、要員制約、セキュリティの懸念等、様々な課題も散見されます。

本講演では、多様なシステムが存在する企業の現状を踏まえ、次世代ITプラットフォームの実現にむけて企業が考えるべきポイントと共に、企業におけるクラウド活用の阻害要因及び対策についてご紹介いたします。



アクセンチュア株式会社
テクノロジーコンサルティング本部 セキュリティグループ マネジング・ディレクター

尾形 玄 氏

【講師プロフィール】
主に官公庁、製造、通信ハイテク業界において、セキュリティ戦略、認証・ID管理、サイバーセキュリティ、クラウドセキュリティ、アプリケーションセキュリティ、MSS(セキュリティ・アウトソーシング)などの複数領域のセキュリティコンサルティング、ならびにソリューション導入プロジェクトに従事。

S-4

エンタープライズセキュリティ セッション会場

withコロナ時代のOTセキュリティ

近年重要インフラ防御や生産継続、機密情報の保持などの観点からOTセキュリティ市場が拡大しています。一方でますます進むデジタル化やポストコロナの時代において工場、プラントにおけるOTセキュリティの要件も変わりつつあります。本講演では工場、プラントがどういった変化しているのか、そして、その時代に求められるOTセキュリティについてのアイデアをご紹介します。



アクセンチュア株式会社
テクノロジーコンサルティング本部 セキュリティグループ シニア・マネジャー

藤井 大翼 氏

【講師プロフィール】
プログラマ・SE、DBエンジニアとして活動後、ウイルス対策製品ベンダーでの約10年の経験を経て、現職。サイバーディフェンス分野を幅広く担当しており、特に重要インフラ、制御システム、製品のセキュリティ、SOC/CSIRT構築、インシデントレスポンス分野に注力している。各業界の専門家やデジタルのチームと連携し、セキュリティを中心としながらも幅広いテクノロジーコンサルティングを行っている。

協賛社セッション

S-5

セキュリティ運用 セッション会場

SOCアナリストが提唱するSOARによる最適な運用課題の解決

SOARは、セキュリティ運用の自動化及び効率化を行いセキュリティ運用を実現することができる概念となつてきています。しかし、実際には一部のオペレーションを自動化するだけで、肝心のインシデント対応自動化まで実現している企業は少ないのではないのでしょうか。本講演では、SOCアナリストがインシデント対応のフローを踏まえて、“使える”SOARの利用方法をご説明します。



テクマトリックス株式会社
セキュリティ研究所 所長

佐山 享史 氏

【講師プロフィール】

セキュリティ企業でMSSPの立上げを行い、セキュリティアナリスト、セキュリティコンサルタントとして従事。その後、大手アンチウイルスベンダーのマルウェア研究所を経て、現在はテクマトリックスセキュリティ研究でMSSPの運用やセキュリティリサーチを担当。専門はセキュリティオペレーションで、SOAR、EDR、NDRといった新しいセキュリティ製品を活用し、リスクの低減を図ることをテーマにしている。

S-6

クラウドセキュリティ セッション会場

ネットワークセキュリティ屋のための「クラウドネイティブ入門」

ネットワークセキュリティの仕事に従事されている方も「クラウドネイティブ」というキーワードを見かけたり、案件対応を求められるケースが出始めていると思います。アプリ開発の色の強い分野となるため、興味はあるが一歩を踏み出せない方が多いと聞きますので、そのような方向けに簡潔にクラウドネイティブのご説明をすると共に、当社のネットワークセキュリティ製品担当がどのように技術をキャッチアップしているか共有します。



テクマトリックス株式会社
第一技術部 ネットワークプロダクト1課 課長

藤田 隼人 氏

【講師プロフィール】

1999年に新卒入社、その後複数のネットワークセキュリティ製品の技術を担当し、2015年のPalo Alto Networksビジネスの成長期から現在に至るまで、一貫してPalo Alto Networks社製品の専任エンジニアとして従事。多数の同社製品の提案・導入を多数手掛け、クラウドネイティブビジネスを立ち上げに奔走中。

S-7

クラウドセキュリティ セッション会場

AWSネットワークセキュリティ強化実現方法

AWS Transit Gatewayの登場により、AWSのネットワークリファレンスアーキテクチャが更新され、セキュリティベンダーと連携する事でネットワークセキュリティを統合的に実装する事が可能となりました。本セッションでは、AWSのセキュリティを紹介すると共に、Palo Alto Networks社 VM Series との連携方法、ユースケースについてもご紹介いたします。



アマゾン ウェブ サービス ジャパン 株式会社
パートナーアライアンス統括本部 パートナーソリューションアーキテクト

江口 智 氏

【講師プロフィール】

AWSのパートナーソリューションアーキテクトです。過去にSIerにてAWSビジネス立ち上げを担当し、数多くのプリセールス・コンサル・SI・運用などの業務経験を経てAWSにジョインしました。これまでの経験を活かして、AWSのパートナー様に支援をさせていただいています。趣味はフットサル!と言いたいところですが、最近是人が集まらず、仕方ないので1人でジョギングをして体を動かしている今日この頃です。

S-8

セキュリティ運用 セッション会場

徹底活用！次世代ファイアウォールのログ分析管理術！

本講演では、統合ログ管理製品「Logstorage」によるPalo Alto Networks 次世代ファイアウォールが出力する膨大なログを、セキュア且つ高圧縮の状態での長期保管し、ログの分析・活用、モニタリングに有効な機能を提供する「Logstorage for Palo Alto Networks Next-Generation Firewall」を紹介いたします。



インフォサイエンス株式会社
プロダクト事業部 シニアコンサルタント

遠藤 洋輔 氏

【講師プロフィール】

2009年よりインフォサイエンス株式会社プロダクト事業部に在席。現在は統合ログ管理製品の分野で13年連続シェアNo.1を誇る「Logstorage」のパートナーセールスをメインに担当。

協賛社セッション

S-9

エンタープライズセキュリティ セッション会場

リモートワークでIT環境と必要なセキュリティはこう変わる！

クラウドサービスの活用や働き方の変化により、企業や組織の守るべきデータの所在やITインフラは大きな変化を遂げています。本セミナーではこうした環境の変化においてポイントとなる「ネットワーク」「エンドポイント」「クラウド」においてどのようなセキュリティ上のリスクがあるか、セキュリティ事故の事例を踏まえ、ゼロトラストを実現するために必要な対策と運用のポイントをご紹介します。



株式会社インフォセック
サイバーセキュリティ事業本部 シニアマネージャー

宮原 博昭 氏

S-10

セキュリティ運用 セッション会場

ニューノーマルな働き方に最適！セキュリティ監視MSS-NDR

新型コロナは我々の働き方改革を加速させました。しかしセキュリティは後回しになっていませんか？侵入対策には監視が必要不可欠ですが、セキュリティ要員の育成やルール制定に頭を悩ませている管理者の方も多いのではないでしょうか。このような悩み、Palo Alto Networks連携サービスとして提供されているNDRによるネットワーク監視を利用すれば迅速な導入が可能で、監視要員の教育も必要ないソリューションを紹介します。



株式会社インフォメーション・ディベロップメント
サイバー・セキュリティ・ソリューション部 エバンジェリスト

藤原 和紀 氏

【講師プロフィール】
株式会社インフォメーション・ディベロップメント
サイバー・セキュリティ・ソリューション部 エバンジェリスト
McAfee社の代理店としてセキュリティ事業をスタート以来、20年以上に渡って100社以上にセキュリティ設計、構築のサービスを提供。現在は制御系システムを含め、海外セキュリティ製品の国内拡販業務に従事している。

S-11

クラウドセキュリティ セッション会場

全網羅！実践的なクラウドセキュリティ対策 ～経験が実証する対策事例のご紹介～

企業は劇的な環境の変化を経験し、事業を止めないインフラとフレキシブルな働き方へとシフトすることを再認識しました。そのような中で、事業の成長を支えるためにクラウドサービスの利用が加速しています。では、このような変化に対し必要なセキュリティ対策とはなんなのでしょうか？本講演では、事業を支えるクラウド活用における経験や事例に基づいた実践的なセキュリティサービスについてご紹介致します。



JBCC株式会社
セキュリティサービス事業部 クラウドセキュリティ開発 部長

宇敷 信介 氏

【講師プロフィール】
2000年JBCC入社。インフラ基盤構築のプロジェクトリーダーとして数多くのプロジェクトを成功に導いた。
2017年4月よりセキュリティサービス事業部にてクラウドセキュリティ製品・サービスの検証・研究に従事しながらプリセールスを行う。現在はPalo Alto Networks製品を中心としたクラウドセキュリティビジネスの推進に注力し提案・販売を支援している。

S-12

セキュリティ運用 セッション会場

防御網をすり抜ける脅威に対応するセキュリティ運用とは

クラウドやテレワークが主流となってきた企業環境で、セキュリティ対策を強固にしたつもりでも高度化した標的型攻撃で侵入され、それに気付いていない事例が多くみられる。防御の網をすり抜ける脅威に対抗するにはセキュリティをアウトソースする時代。TrustwaveはパロアルトネットワークスのFirewall、Traps、Cortex XDR、Prismaに対してマネージドセキュリティサービスを提供し、脅威の検知と対応を7/24で行うグローバルパートナーである。本セッションではセキュリティ侵害の動向や、マネージドセキュリティサービスによる侵害対応事例を紹介する。



トラストウェーブジャパン株式会社
セールス セールスディレクター ジャパン

新開 大裕 氏

【講師プロフィール】
シンガポールテレコムにおいて、大手製造業を中心とした国際データ通信、IOT、衛星通信の営業を担当後、パートナー向け国際データ通信ならびにサーバーセキュリティの販売を中心とした営業責任者を務める。
2019年よりトラストウェーブに加わり、マネージドセキュリティサービス販売の営業責任者として活動。

協賛社セッション

S-13

エンタープライズセキュリティ セッション会場

ハイブリッドクラウドのゼロトラストネットワークを完全自動化

新型コロナウイルスの影響により、働く場所に依存せず、安全にアクセスできる仕組みが必要です。様々なアプリケーションが、プライベート・パブリッククラウドで実行されるなか、分散された多種多様な環境の脅威をどのように担保すれば良いでしょうか。Nutanixの自動化・ネットワークセキュリティ製品とパロアルト・ネットワークスのVM-Seriesを組み合わせたゼロトラストソリューションをご紹介します。



ニュータニックス・ジャパン合同会社
シニアソリューションスペシャリスト

森須 高志 氏

【講師プロフィール】

組み込みOSベンダー、ネットワーク機器ベンダー、CDNサービスプロバイダー、外資系ハードウェアベンダー 主に通信キャリア、ネットワーク機器を担当などを経て現在 ニュータニックス・ジャパン合同会社 シニアソリューションスペシャリスト テクノロジーアライアンス担当。

S-14

クラウドセキュリティ セッション会場

Prisma Access x Cisco Duo で、かんたん多要素認証のご紹介 & IoT連携ソリューションで実現する次世代SOARのご紹介

- ・ 迅速にセキュアなテレワーク環境の実現が可能なPrisma Accessと、多要素認証&端末管理機能を提供するCisco Duoの連携により、ゼロトラストをシンプルに導入できるデモをご紹介します。
- ・ Cortex XSOARは、ICSセキュリティ対策における運用ツールとしても最適です。ICSセキュリティ対策ソリューションであるSCADAfenceを例に、XSOARとの連携活用例をご紹介します。



ネットワンパートナーズ株式会社
セールスエンジニアリング部 セールスエンジニア

藤原 圭汰 氏

【講師プロフィール】

ネットワンパートナーズでお客様担当のアカウントSEに従事。その一方で、数年にわたり担当していたセキュリティ製品への理解を生かしそれら製品群のプリセールス活動にも注力している。会社の強みを生かし、Palo Alto Networks製品を中心に他ベンダーとの連携ソリューションの開発に勤しんでいる。



ネットワンパートナーズ株式会社
セールスエンジニアリング部 セールスエンジニア

久保田 泰章 氏

【講師プロフィール】

ネットワンパートナーズでIIoT製品担当に従事。中でも製造業を中心としたネットワーク/セキュリティ製品のプリセールス活動に注力。これまでのIT常識が通用しないOTの世界で、いかにしてIT/OT Convergenceを訴求するのか、サイバーテロからどのようにお客様資産を保護するのか、という課題に日々奮闘中。

パロアルトネットワークス / スペシャル セッション

X-1 各セッション会場 共通

パロアルトネットワークスProductの全貌

次世代ファイアウォールから始まったパロアルトネットワークスの歴史。新たな製品、機能の開発、様々な買収を重ね、サイバーセキュリティ全般を網羅しました。いま、改めて全Productを紹介します。

パロアルトネットワークス株式会社
技術本部 シニアSEマネージャー

本間 庸之

ST-3 エンタープライズセキュリティ セッション会場

IoTセキュリティ対策をシンプルに！

IoTセキュリティに特化した単一用途のセンサーは不要です。パロアルトネットワークスのIoTセキュリティはNGFWをIoTに対応させるだけでよく、新しいインフラストラクチャを追加する必要はありません。機械学習を活用したアプローチにより、未知のデバイス、管理されていないすべてのIoTデバイスを正確に識別し、リスクを継続して評価します。当セッションではIoTセキュリティの特徴について解説します。

パロアルトネットワークス株式会社
技術本部 システムズエンジニア

丸茂 章太郎

ST-5 エンタープライズセキュリティ セッション会場

コンテナで動作する業界初のNGFW “CN-Series”

CN-Seriesは、Kubernetesクラスター上で動作するPAN-OSの新しい提供形態です。ビジネス要求に迅速に対応するため、DevOpsによるスピーディなアプリケーション開発のトレンドが進行しています。そのためには自動化によるスピードアップが欠かせません。CN-Seriesは、コンテナでNext Generation Firewall機能を提供し、Kubernetesクラスターで動作するアプリケーション郡の通信可視化・制御を実現します。当セッションではCN-Seriesの特長と、CI/CDと親和性の高い実装形態についてご説明します。

パロアルトネットワークス株式会社
技術本部 システムズエンジニア

松崎 裕樹

ST-1 エンタープライズセキュリティ セッション会場

「PAN-OS 10.0」全ての環境に更に進化したネットワークセキュリティを！

パロアルトネットワークスでは、Strataシリーズの新たな PAN-OS を日本でGA致しました。「全ての環境にインテリジェントなネットワークセキュリティを」を合言葉にPAN-OSは新たな進化を遂げており、IoTデバイス向けセキュリティ、インラインML、コンテナ型FW、TLS 1.3 対応など、組織のセキュリティを更にセキュアにするための機能を提供します。ナンバリングもついに二桁となり、ますます進化するPAN-OS！その70を超える新機能について、主要な機能をポイントに解説します。

パロアルトネットワークス株式会社
技術本部 システムズエンジニア シニアコンサルタント

石川 幸平

ST-4 エンタープライズセキュリティ セッション会場

Zero Trust Security+インフラの再構築

ゼロトラストという言葉があちらこちらから聞こえてきますが、ゼロトラストセキュリティ提唱の元祖を自負するパロアルトネットワークスとしてコロナ禍の中での真のゼロトラストセキュリティについて基本から構築事例を交えて分かりやすく解説致します。

パロアルトネットワークス株式会社
技術本部 システムズエンジニア

横谷 康久

ST-6 エンタープライズセキュリティ セッション会場

Data Center Transformation ～ハイブリッドクラウドを支えるネットワークセキュリティ～

最近のアプリケーションは仮想インフラ上で動作するように設計され、パブリッククラウド、プライベートクラウドなど、その用途にあった場所で稼働するようになりました。仮想化に伴いシステムやその通信の可視化や制御が難しく、仮想環境にあったセキュリティ対策の整備が急務となっています。本セッションでは、Data Center Transformationを支えるVM-Seriesを事例を交えてご紹介いたします。

パロアルトネットワークス株式会社
技術本部 アーキテクト

今岡 誠

パロアルトネットワークス / スペシャル セッション

PR-1 クラウドセキュリティ セッション会場

ハイブリッド／マルチクラウド環境向けSOCを強力に支援するPrisma Cloud

パブリッククラウド利用が普及する中、多くのお客様がマルチクラウド環境の統合的可視化や、インシデント対応の高速化・自動化などの課題を抱え、またクラウドそのものにおいて攻撃対象領域は非常に多く存在しています。そのような中、SOCチームは重責を抱えながら、膨大なログ、アラート、インシデントの対応に忙殺されています。Prisma Cloudは、自動的に異常を検知し、ピンポイントで問題に迅速に取り掛かり、ネットワークへのパフォーマンスインパクト分析やリソースの変更履歴のレビューにより、ハイブリッド／マルチクラウド環境でも原因を突き止めます。また、Prisma Cloudは、お客様の既存のSIEMやSOARと統合することができ、SOCチームがリスクに対処する能力を迅速化および効率化します。当セッションでは、Prisma Cloudをどのようにシームレスにお客様のSOCの監視プラットフォームに統合していくべきか、またどのようにPrisma Cloudでマルチクラウド環境を可視化していくべきか、ご説明します。

Palo Alto Networks Inc.
SecOps Consulting Engineer, JAPAC

Vishal Lanjekar

Palo Alto Networks Inc.
Consulting Engineer, JAPAC

Sujit Nair

PR-2 クラウドセキュリティ セッション会場

お客様事例徹底解説！現代企業のためのクラウドセキュリティ

デジタルトランスフォーメーション時代において、企業にとってのパブリッククラウドの活用は、ビジネスの迅速化や新サービスの創出の観点で非常に必要不可欠なものになりました。弊社のアジアパシフィック地域では、パブリッククラウドのセキュアな活用を実践しているお客様が多くいらっしゃいます。そのようなお客様はどのようにパブリッククラウドのセキュリティ、ガバナンス、コンプライアンスを担保しているのでしょうか？当セッションでは、DevSecOpsや自動化されたセキュリティ対応を含めて、アジアパシフィック地域における最近のクラウドセキュリティに関連するユースケースを紹介していきます。

Palo Alto Networks Inc.
Manager Consulting Engineering, APAC

Bisham Kishnani

PR-5 クラウドセキュリティ セッション会場

デジタルトランスフォーメーションを加速する ネットワークセキュリティとは – Prisma Access –

デジタルトランスフォーメーションの流れはコロナ禍などの外的要因により今まで以上のスピードで進めなければならなくなった組織は少なくありません。しかし、従来の仕組みや考え方ではユーザービリティの悪化や十分なセキュリティ対策が取れないケースもあります。このデジタルトランスフォーメーションを進める上で課題の答えとして注目を集めている SASE と、リリース当初からこのコンセプトを取り込んでいる Prisma Access を、ユースケースを交えてご紹介します。

パロアルトネットワークス株式会社
システムズエンジニア スペシャリスト, Prisma Access & SaaS

石橋 寛憲

PR-3 クラウドセキュリティ セッション会場

クラウドセキュリティとDevSecOps

当セッションでは、セキュリティ視点から見たパブリッククラウドを使用する場合の最新の課題と、クラウド上での開発が始まり、Infrastructure as Code (IaC) とアプリケーション開発が組み合わされた環境下でDevSecOpsを採用するための5ステップを解説します。

パロアルトネットワークス株式会社
技術本部 SE ディレクター

安齋 賢二

PR-6 クラウドセキュリティ セッション会場

CloudGenixのテクノロジーを搭載した次世代SD-WAN

このような状況下の中、複数のクラウドを横断するアプリケーションが増加し、動画ストリーミングによる直接のインターネット アクセスが必要になるにつれて、複数の支店/拠点を持つ顧客はトラフィックと複雑さの増加に直面しつつあります。そのような中適切なSD-WAN製品を選ぶ方法が必要になってきております。その最適な次世代SD-WAN CloudGenixについて解説いたします。

パロアルトネットワークス株式会社
クラウド&エッジソリューション営業統括

藤生 昌也

パロアルトネットワークス / スペシャル セッション

PR-8

クラウドセキュリティ セッション会場

Chatwork x Macnica Solutions: Prisma Cloudで始めるContainer Security

Chatwork株式会社では2019年にPrisma Cloudを導入しました。このContainer Native時代に、ChatworkはなぜPrisma Cloudを入れて何を解決したかったのか、入れることで起きた変化などをご紹介します。



Chatwork株式会社
開発本部 SRE部

尾崎 耕多 氏



Chatwork株式会社
開発本部 SRE部

坂本 諒 氏



マクニカソリューションズ株式会社
第1営業部 第2課長

前野 秀彰 氏

SP-2

クラウドセキュリティ セッション会場

クラウドセキュリティ対談

クラウドジャーニーを実践されるお客様がますます増える中、パロアルトネットワークスのセキュリティポートフォリオもクラウドプロバイダー様との連携を拡充しています。本講演では、アマゾン ウェブ サービス ジャパン様との合同セッションとして、お客様がセキュアにクラウドへのアプリケーションを展開できるよう、サイバー攻撃の検知・防御のみならず、コンプライアンスや態勢管理も含めたクラウドセキュリティの在り方を考察し、相互連携のソリューションについてご紹介いたします。

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社
パートナー技術本部 ISVソリューション部
部長 パートナー ソリューション アーキテクト

河原 哲也 氏

パロアルトネットワークス株式会社
技術本部 システムズエンジニア シニアコンサルタント

石川 幸平

SP-3

クラウドセキュリティ セッション会場

クラウドネットワークで実現するエンタープライズセキュリティ

オンプレミス環境とクラウド環境を使いこなすハイブリッドクラウドが一般的になっていく中で、セキュリティを担保するためのネットワーク設計には、これまでの設計も考慮した上で、さらにクラウド特有の新しい考え方も必要になります。そこで、具体的な設計例をもとに、エンタープライズセキュリティを実現するためのクラウドネットワークにおけるベストプラクティスをご紹介します。

グーグル・クラウド・ジャパン合同会社
カスタマーエンジニア

有賀 征爾 氏

パロアルトネットワークス / スペシャル セッション

CO-1 セキュリティ運用 セッション会場

Secure the Future – Cortex セキュリティオペレーションの改革

どのようなソリューションでもセキュリティオペレーションを考えなければ、宝の持ち腐れになってしまいます。どのようなセキュリティソリューションを導入する上でも、オペレーションは重要性は変わりません。Cortexによるセキュリティオペレーションの効率化がもたらすベネフィットの紹介と弊社が提供するCortex、Strata, Prismaによるリモートワーク下でのセキュリティ対策、SOCの自動化、内部不正対策をご紹介します。

パロアルトネットワークス株式会社
Cortex 営業本部 本部長

露木 正樹

CO-3 セキュリティ運用 セッション会場

既存のセキュリティ対策資産を最大限活用 Cortex XSOAR がもたらすセキュリティ運用の改革

多くの企業や組織ではサイバー攻撃対策のため、様々なセキュリティ製品やサービスを導入しています。また、サイバーリスク・脅威・侵害の監視や対応を行う際には、メールボックスやActive Directory など様々な情報資産も活用していくことができます。一方で、人的リソースの不足などにより、こうした製品やサービスが提供する多くのリスク情報やアラートや既存の情報資産を効率的に生かせず、可能な範囲でしかセキュリティ運用を行えていない状況があります。XSOAR によるオーケストレーションと自動化により、これら資産の能力を最大限生かしつつ実現するセキュリティ運用の形をご紹介します。

パロアルトネットワークス株式会社
ソリューション アーキテクト Cortex/Demisto

井上 正彦

CO-5 セキュリティ運用 セッション会場

セキュリティ人材不足をこれで解決！ Cortex XDR Managed Threat Hunting Service とは？

今年の前半に防衛関連企業に対する標的型攻撃による情報漏えいが話題となりました。高度な脅威を発見するためには日々の脅威ハンティングが重要ですが、高度なセキュリティ人材の確保することは現実には非常に困難です。弊社が新たに開始したCortex XDR Mnged Threat Huntingサービスによって、この問題がどのように解決できるのか事例を交えてご紹介いたします。

パロアルトネットワークス株式会社
Cortex営業本部 システムエンジニア

池永 章

CO-2 セキュリティ運用 セッション会場

～アラートを1/50に削減しセキュリティ運用を改革～ Cortex XDR

エンドポイントを保護するために、ウイルス対策/脆弱性対策/サンドボックスやEDRなどの各種ツールを導入した結果、個々にアラートが生成されセキュリティ運用が困難な状況になっています。Cortex XDRはマルウェア脅威からの保護に加え、ネットワークを含めた複数アラートを紐づけてインシデント化し、調査や対処を統合することでセキュリティ運用を改革します。更にエージェントレスで内部不正対策や未知脅威を発見する特許取得済の行動分析テクノロジーについてご紹介いたします。

パロアルトネットワークス株式会社
Cortex営業本部 システムエンジニア

室井 俊彦

CO-4 セキュリティ運用 セッション会場

脅威インテリジェンスプラットフォームAutoFocusとは

セキュリティチームは日々さまざまな脅威情報を入手していますが、ブラックリストの肥大化など脅威情報の活用や棚卸しが困難な状況にあります。AutoFocusでは、世界中のお客様から寄せられる脅威情報とUnit42のセキュリティ研究者が提供する詳細なコンテキストによる価値の高い情報が提供します。APIを介してCortex XDR, Cortex XSOARなどとの連携によりアナリストの作業時間を大幅に短縮することが可能となるAutoFocusをご紹介します。

パロアルトネットワークス株式会社
Cortex営業本部 システムエンジニア

澁谷 寿夫

パロアルトネットワークス / スペシャル セッション

I-1

業種別 セッション会場

急増する DNS を悪用する攻撃への対処 - DNS セキュリティサービスのご紹介

DNS (Domain Name System) はインターネットの重要な基盤技術の一つであり、あらゆるビジネスで利用が必須のプロトコルです。しかしながら、80% のマルウェアが DNS をデータ剽窃・マルウェアの拡散のための通信の隠蔽に利用していると言われており、Web や電子メール同様、セキュリティ対策の実施が重要となっています。

本セッションでは、クラウドと連携により高度でスケール可能なセキュリティ機能を提供する、弊社のファイアウォール統合型の DNS セキュリティサービスを紹介致します。

パロアルトネットワークス株式会社
技術本部 システムズエンジニア

梶崎 晃太

I-3

業種別 セッション会場

5Gインフラのセキュリティリスクとその対策

第5世代移動通信システム(5G)は高速大容量通信、超低遅延、多数同時接続という特徴があり、新たなビジネスを創出する可能性を秘めています。

一方でサービスを提供する通信事業者は新たなサイバーセキュリティ攻撃に備える必要があります。本セッションでは5Gのインフラ構築・サービス提供に伴うセキュリティリスクとその対策について紹介致します。

パロアルトネットワークス株式会社
技術本部 システムズエンジニア

松本 智大

I-5

業種別 セッション会場

重要インフラとDX ～サイバーセキュリティ対策の最前線～

今日、重要インフラを支える多くの企業ではIT(情報基盤)とOT(製造/制御基盤)の融合によるビジネス形態の変化、“デジタルトランスフォーメーション(DX)”を積極的に検討している一方で、増加していくサイバー攻撃によるダメージリスクの回避にも頭を抱えています。

本セッションではパロアルトが考える重要インフラ分野におけるIT/OTのDXで重要なセキュリティ対策について紹介致します。

パロアルトネットワークス株式会社
技術本部 システムエンジニア

安岡 祥吾

I-2

業種別 セッション会場

GlobalProtectによるリモートアクセス環境の整備

自宅やカフェでのメールやドキュメント更新など、今日の従業員の多くは社外で作業を行っています。こうした労働者のモビリティ環境の向上により、生産性や柔軟性は高まりますが、同時に重大なセキュリティリスクを招きます。本セッションでは、ユーザがどこにいるかに関わらず、全ユーザに対して次世代ファイアウォールのポリシーを適用することで、セキュリティの課題を解決できるGlobalProtectをご紹介します。

パロアルトネットワークス株式会社
技術本部 システムズエンジニア

岸本 卓也

I-4

業種別 セッション会場

生活環境の変化に伴う、NOCのニューノーマル

コロナや働き方改革という生活環境の変化に伴い、これまでリモートアクセス環境が無かったNOC(Network Operation Center)でも、リモートアクセス環境を検討する時期になったと考えております。本セッションでは、セキュアなリモートアクセス方法と、さらに、ゼロトラストをNOCのネットワークに適用することで、よりセキュアなネットワークを実現する手法についてご紹介します。

パロアルトネットワークス株式会社
技術本部 システムズエンジニア

久保田 浩康

I-6

業種別 セッション会場

今求められるセキュリティプラットフォームと将来像

パロアルトネットワークスのセキュリティプラットフォームは、Withコロナの企業状態に合わせた段階的な導入が可能です。オフィス縮小を伴うテレワーク対応、海外拠点を含めたグローバルネットワーク&セキュリティの見直し、持ち出し端末の増加に伴うエンドポイントセキュリティの強化、セキュリティ運用が高度化する中で求められる自動化や省力化など、顧客の置かれる各段階によりどのように実現・拡張できるのか、直近の製造業における実例をもとに紐解いて説明します。

パロアルトネットワークス株式会社
技術本部 システムズエンジニア

寺内 大補

パロアルトネットワークス / スペシャル セッション

I-7

業種別 セッション会場

コロナ時代の環境変化に伴う企業ビジネスの順応と対策

コロナ時代のリモートワークの状況や継続性の考察と目指すべき完全なテレワーク環境を実施段階ごとに整理し、金融業界の現状から、取り組むべき最初のステップと必要なソリューションを紹介します。

パロアルトネットワークス株式会社
エンタープライズ営業本部 金融営業 部長

池田 良輔

パロアルトネットワークス株式会社
技術本部 システムズエンジニア

浅野 貴志

I-8

業種別 セッション会場

クラウド向けセキュリティ対策と全体最適化

クラウド固有のセキュリティリスクや最新のインシデントを紹介し、クラウド単体だけでなく、ネットワーク、エンドポイント、SOCを含めゼロトラストをベースにセキュリティ全体の最適化が必要です。弊社の考える「あるべき姿」とクラウド固有リスクに対する弊社の対策ソリューションを紹介し、実際の国内金融事例を解説します。

パロアルトネットワークス株式会社
技術本部 システムズエンジニア

浅野 貴志

B-1

ビジネス セッション会場

「アラート疲れ」や高度なサイバーリスクに対するセキュリティオペレーションの解決策

クラウド活用、BCPや働き方改革に向けたテレワークなど、企業を取り巻くIT環境が一層複雑になる中で、SOCチームやセキュリティ主管部門におけるセキュリティオペレーション業務もこれまで以上に煩雑になっています。各種製品から上がる無数のアラートへの対応や、巧妙かつ高度なサイバーリスクへの対応、スレットハンティングによるより積極的な脅威の検出など、多くの企業が直面するセキュリティオペレーションにおける様々な課題をどのように解決していくことができるかを、日夜セキュリティオペレーションに従事する立場の視点を含めてパネルディスカッション形式で議論します。

株式会社リクルート
リスクマネジメント担当 セキュリティ推進室
セキュリティオペレーションセンター
インシデントレスポンスグループ グループマネージャー

六宮 智悟 氏

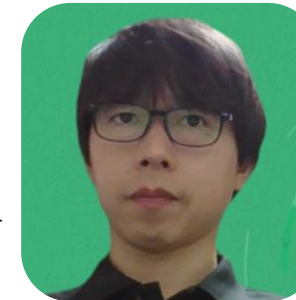
【講師プロフィール】

2003年よりセキュリティベンダーで有償サポート顧客のインシデント解決支援、マルウェア解析、自社CSIRTの技術責任者などを経験。ユーザ組織でのセキュリティ実務経験を求めて、2017年9月にリクルートテクノロジーへ。SOC 兼 CSIRT メンバーとして日々の運用や組織全体のインシデント対応を支援。現在は SOC インシデントレスポンスグループのマネージャ。2020年4月よりリクルート株式会社所属。東京電機大学「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」外部講師。



パロアルトネットワークス株式会社
チーフサイバーセキュリティストラテジスト

染谷 征良



パロアルトネットワークス株式会社
システムエンジニア

室井 俊彦

B-2

ビジネス セッション会場

デジタルビジネスを支えるサイバーセキュリティ重点施策5項目

ビジネスの競争力や俊敏性の強化、働き方改革、事業継続性（BCP）などの目的で、近年企業のデジタル環境はめまぐるしく変化しています。企業のデジタル環境の変化に合わせてサイバーリスクも変化し続けており、この変化にどのように対応するかは企業の喫緊の課題と言えます。本セッションでは、ビジネスにおけるデジタル環境とサイバーリスクの変化の中で、中長期的に持続可能なセキュリティ戦略と具体策として、企業が検討すべき優先投資項目についてご紹介します。

パロアルトネットワークス株式会社
チーフサイバーセキュリティストラテジスト

染谷 征良

パロアルトネットワークス / スペシャル セッション

B-3

ビジネス セッション会場

いま検討するリモート制御やIoTのセキュリティ課題と対策

ビジネスの競争力強化やBCPなど様々なゴールに向けて、製造業だけでなく様々な産業でIoTの活用やがはじまる一方で、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、リモート環境から産業システムを制御するといった需要も高まっています。このパネルディスカッションでは、企業がIoTやリモート制御の取り組みを推進する中で考えられる、サイバーセキュリティ上の課題、採用すべき視点や戦略、具体的な対策について、IoTやリモート制御関連の製品・サービスを開発・提供する事業者、導入・利用する側の事業者の立場などの様々な観点で議論します。

グローバルセキュリティエキスパート株式会社 CSO
一般社団法人コンピュータセキュリティ協会 理事

萩原 健太 氏

【講師プロフィール】

法政大学大学院公共政策研究科公共政策学専攻修士課程 修了
セキュリティベンダーで営業、マーケティング、渉外、CSIRT 構築・運用などを行い、令和元年にGSX入社。CSOとして組織内外のセキュリティ活動や各種外部団体で活動し、セキュリティに関する講演活動や執筆活動などを行う。また親会社であるビジネスブレイン太田昭和 (BBS) に出向し、経営戦略の策定やコーポレートブランディングを担当する。
日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA) 幹事、日本コンピュータセキュリティインシデントチーム対応協議会 (NCA) 副運営委員長コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ) 理事、Software ISAC 代表等を務める。



パロアルトネットワークス株式会社
チーフサイバーセキュリティストラテジスト

染谷 征良



アクセンチュア株式会社
テクノロジーコンサルティング本部
セキュリティグループ
シニア・マネジャー

藤井 大翼 氏

B-4

ビジネス セッション会場

BUSINESS EXECUTIVE SESSION ニューノーマル時代を勝ち抜くデジタル変革の最前線 ～変化に強い企業を創る、ビジネスアジリティとマネジメントの実行力～

Withコロナ時代では、これまで以上にビジネスの前提や常識が破壊され、デジタル化によって社会や経済活動に対する世界観が大きく変わろうとしています。まさに、ニュー・ノーマルなビジネス形態にはデジタルテクノロジーを組み合わせた企業変革が必要となっているといっても過言ではなく、企業は事業継続性の向上とともに、次代の成長戦略におけるデジタルトランスフォーメーション (DX) へ対応が、待ったなしの状態となっているのではないでしょうか。経済へ大きな影響を与えている中で、これからはビジネス環境の変化に対し、変化適応力の高いビジネスモデルや業務プロセスを再構築していく必要があるといえます。本セッションでは、先進企業のDXを牽引する横河電機 船生様と、DXレポートをまとめた「デジタルトランスフォーメーションに向けた研究会」座長の青山様をお迎えし、デジタル戦略の課題をいかにして乗り越え企業変革へ取り組んでおられるか、DXへ取り組むうえで組織・マインド・経営をいかにまとめ強い企業へ変革を進めるか、これまでの経験と研究から導き出された、変革のヒントを考察していきます。

■プログラム

◎特別講演 (25分) 南山大学 青山 幹雄 氏

「ビジネス変革へ導くデジタルトランスフォーメーション ～変化に強い企業のDX 戦略」

新型コロナ禍はDXを社会全体で我が事として認識する機会となっている。本講演では、DXによる変化に強いデジタルビジネスへの挑戦について述べる。変化に対応できるビジネスモデルとそれに向けてデジタル技術を活用した経営改革の鍵を、事例を交えて紹介する。あわせて、DXによる改革の課題とDXがもたらす企業価値について述べる。

◎特別ショート講演 (15分) 横河電機株式会社船生 幸宏 氏

「Withコロナ時代を戦う横河電機が進めるDX推進アプローチ ～攻めのデジタル変革による“デジタルエンタープライズ企業”への挑戦～」

◆DXにおける変革課題とその対応策 ◆DXはIT部門改革から ◆IT部門をDXドライバーに

◎特別対談 (30分)

「With コロナを勝ち抜く、DX による企業変革の最前線」

横河電機株式会社 船生 幸宏 氏× (モデレータ) パロアルトネットワークス株式会社 林 薫



南山大学
理工学部 ソフトウェア工学科 教授

青山 幹雄 氏



横河電機株式会社
執行役員 デジタル戦略本部長 (CIO) 兼
デジタルエンタープライズ事業本部 DX
プラットフォームセンター長

船生 幸宏 氏



パロアルトネットワークス株式会社
日本担当最高セキュリティ責任者 (Field CSO)

林 薫

パロアルトネットワークス / スペシャル セッション

B-5

ビジネス セッション会場

なぜセキュリティ予算は通らないのか ~失敗しない予算獲得術~

企業の経営層のセキュリティ対策への理解がなかなか深まらないために、セキュリティ対策を施すための予算を通すことができないと悩んでいる方も多いのではないのでしょうか。なぜ、セキュリティ対策予算は通らないのでしょうか。そもそも経営層の最大の関心事・考え方・判断基準を見誤っていないのでしょうか？今回は予算を獲得するために必要なポイントについて経験談を含め紹介します。



SOMPOリスクマネジメント株式会社
サイバーセキュリティ事業本部 首席フェロー

熱海 徹 氏

【講師プロフィール】

1978年4月 日本放送協会入局 エンジニア
2016年6月 内閣府SIP推進委員,人材育成WG
2016年7月 一般社団法人 ICT-ISAC事務局次長
2018年9月 SOMPOリスクマネジメント入社
2019年7月~ 経済産業省 産業サイバーセキュリティ研究会 有識者委員

B-8

ビジネス セッション会場

パンデミック下におけるサイバー攻撃

COVID-19が世界中で蔓延している中で、サイバー犯罪者やATP攻撃グループは犠牲者となるターゲットに対してパンデミック下であることを積極的に利用しています。当セッションでは、2020年に入ってからUnit 42が調査および発見した様々なタイプのサイバー攻撃についてお話しします。また、今年Unit 42が追跡したその他多くのサイバー攻撃についてもご紹介し、それらの攻撃に対して私たちはどのように守っていくのがベストなのかお話しします。

Palo Alto Networks, Inc.
Principal Researcher - UNIT 42

Vicky Ray

B-6

ビジネス セッション会場

防衛力と経済性を考慮したセキュリティ戦略の立案

多くの企業がセキュリティ投資を行ってきたにもかかわらずデータ侵害やランサムウェアの被害を受ける事例が後をたちません。その結果、業務が一定期間停止したり、GDPRによって巨額の制裁金を課されるなど、サイバーセキュリティは企業経営における大きなリスクの一つになっています。こうしたリスクをコントロールするため、経営層は適切なサイバーセキュリティ戦略を立案し実行することが必要です。その際注意すべきは脅威に対抗するという技術的な問題にとらえるだけでなく、将来にわたる自社のビジネス戦略への適合性とTCOなどの経済性の考慮です。本セッションでは経営層がセキュリティ戦略を立案する中で不可欠なビジネス・テクノロジー・コストのバランスを保つ方法についてご紹介します。

パロアルトネットワークス株式会社
日本担当最高セキュリティ責任者 (Field CSO)

林 薫

B-7

ビジネス セッション会場

ゼロトラストの神話と現実

サイバーセキュリティの分野においてゼロトラストというキーワードが広く使われるようになってきました。本来の意図は「信頼せず常に検証する」という考え方であり、クラウドやリモートワーク、IoTなど企業ネットワークが多様化してきている現在、防御側の指針の基礎となる重要な考え方です。しかし、一種のバズワードとして様々な場面で使われることが多くなってきており、人によってその定義や捉え方に違いが出てきます。本セッションではゼロトラストとは何か、よくある誤解、そして組織に導入する際の方法について解説します。

パロアルトネットワークス株式会社
日本担当最高セキュリティ責任者 (Field CSO)

林 薫